



●検査部より

こんにちは。臨床検査技師の平田です。

今回は、糖尿病患者さんの感染症について紹介します。

糖尿病患者さんの感染症について I

「糖尿病の方は感染症にかかりやすい」ってご存知ですか？

人間のからだは、体内に侵入しようとする細菌やウイルスなどと戦っています。でも、糖尿病の方は、4つの理由で感染症にかかりやすいことを説明します。



① 白血球のなかの「好中球」は、体内に細菌などが侵入すると、細菌などを食い殺します。(貪食機能)でも、血糖値が高いとこの機能が低下します。

② 免疫反応の低下

「免疫反応」とは、感染がおこらないようにする体内の機能のことで、体内に細菌などの病原体が感染すると、その病原体に対して体内に「抗体」ができます。

(抗体とは、病原体の侵入を防ぐように働く物質です)

ふたたび、その病原体による感染があった場合に「抗体」があれば、その病原体による感染がおこりにくいか、感染がおこらないようになる機能がありますが、血糖値が高いとこの「免疫反応」が弱くなり感染しやすくなります。



③ 血流が悪い

感染が体内でおきると「白血球や抗体」が血流にのって、感染をおこしている場所に到達する必要がありますが、高血糖では血流が悪くなっているために「白血球や抗体」が血流にのって、感染をおこしている場所に到達しにくい状態になっています。

④ 神経障害が感染症を悪化させます

高血糖が持続すると、その血糖を分解しようと異常代謝がおこります。その異常代謝は、神経伝達機能を低下させ「足の先」がしびれた感じがして感覚が麻痺する場合もあるため、感染症に気付くのが遅くなったり、そのあいだに感染症が進行してしまうことがあります。



糖尿病患者さんの感染症についてII

糖尿病の方がかかりやすい感染症は？

- ・尿路感染症.....女性の方に多い感染症です。
尿道から感染し、膀胱炎、腎炎などを起こす場合があります



- ・肺炎や気管支炎.....「かぜ」をこじらすと、肺炎や気管支炎になる場合があります。
また、糖尿病で高齢の方は、「結核菌」による肺炎や気管支炎にも注意が必要です。



- ・胆のう炎.....「胆のう炎」は、胆石があると起こりやすい病気です。
糖尿病の方は胆石を持っている方が多く、また、線形障害により胆汁がとどこおりやすいことから、「胆のう炎」を発症しやすくなっています。

胆のうは、脂肪分の消化・吸収に必要な胆汁を排出する臓器です。
そして、自律神経障害で胆のうの収縮が不十分になると、胆のう内に胆汁が残り、そこに細菌が繁殖する場合もあり、脂肪分の多い食事を控えるように気がけてください。



図：三和化学研究所様 引

●新人紹介

昨年9月から勤務することになりました検査技師で糖尿病療養指導士の平田です。
まず初めにビックリしたのはHbA1cの検査機器が大きな病院しか見る事が出来ない
「高速ろ過クロマトグラフィー」を原理とするものでした。この測定器を見て「検査値」に
たいへん重点を置いている病院だと実感し、精度管理をしっかりと取り組んでいくことを
誓わせてもらいました。

みなさまに一日でも早く覚えてもらえるように自己紹介をさせてください。長崎市内の
新中川に住んでいて、ノーベル文学賞をとった「カズオ イシグロ氏」が幼少のころ
住んでいた近くに住んでいます。



たきの内科クリニック

